

中部部長主題：長所を活かして生き生きと！

円滑なコミュニケーションをもって奉仕活動に励み、
事業の質的向上を会員増強につなげよう

2013-2014 中部部長通信 No.4 (2013年10月31日)

中部部長 平口 哲夫 (金沢犀川クラブ)

秋は行事の多い季節です。YMCA・ワイズメンズクラブ関係に限っても掌握しきれないほど各地で様々な行事が開催されています。「多足の草鞋」を履くだけに、たいへん忙しい日々を過ごしましたので、部長通信の発行が予定よりもかなり遅れてしまいました。

今号では、9月から10月にかけて開催された西日本区各部部会の参加記を中心に紹介します。部長公式訪問例会や各クラブ活動状況については、次号で述べることにいたします。

なお、中部ホームページにリンクされているブリテンによって各クラブ活動状況を知ることができますので、ぜひご覧ください。

金沢クラブ <http://www.ys-chubu.jp/main/kanazawa.files/kanazawa-bi.html>

名古屋クラブ <http://www.ys-chubu.jp/main/nburiten/burinagoya.html>

名古屋東海クラブ <http://www.ys-chubu.jp/main/07tokai/buritokai.html>

名古屋南山クラブ <http://www.ys-chubu.jp/main/nanzan-buriten/burinanzan.html>

名古屋プラザクラブ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/plaza-buriten.html>

名古屋グランパスクラブ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus-buriten.html>

四日市クラブ <http://www.ys-yokkaichi.sakura.ne.jp/greeting.html>

津クラブ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/buritu.html>

金沢犀川クラブ <http://www.ys-chubu.jp/saigaways/briten/briten1307-1406.html>

1. 西日本区各部会に参加

【第17回中部部会】日時：8月31日(土)13:00～17:30、会場：金沢都ホテル、ホスト：金沢犀川クラブ、部長：平口哲夫。登録費：10,000円。参加者数：126名。中部各クラブからの参加者数：71名。

(1)参加者が目標の100名に達するか、(2)少ないスタッフで準備が間に合うか、(3)お天気は大丈夫か、という点で大きな心配がありました。若準備不足による失敗は多少あったものの、全体的には成功裏に終えることができました。会場はJR金沢駅東口のすぐ前に位置していますので、電車で来られる方にとっては便利です。11:30～12:30に並行して行われた中部評議会と中部メネット会(メネットアワー)が5F、13:00～17:30に開催された中部部会式典・記念講演がB2F、懇親会が5Fというように同ホテルの施設内での移動が気になりましたが、さほど支障にはならなかったようです。式典オープニングにおけるフルート2とチェ



ロ1による三重奏、二代目森乃福郎師匠による講演「頭のストレッチ」と上方落語一席、小規模ながらメネット事業の一環として行われた「中部第1回障がい者アート展」(5F ロビー)、懇親会における金沢料理、ギター引き語り、シャンソン(ピアノ伴奏あり)、金沢クラブ・金沢犀川クラブのメネットのリードによる「いいね金沢」の踊り(左写真)など、好評を得ました。

【第18回京都部部会】日時：9月1日(日)16:00～、会場：ホテルグランビア京都「源氏の間」、ホスト：京都ウエストクラブ、部長：桂 厚子。登録費：ワイズ 11,000 円、メネット 10,000 円。参加者数：460 名以上。中部各クラブからの参加者：谷川 修(名古屋クラブ)、吉田一誠(名古屋グランパス)、大西博昭・若松芳弘・郷戸正光・伊藤広海(四日市クラブ)、澤瀬 諭・三谷信三・平口哲夫(金沢犀川クラブ、12:00 からキャンパスプラザ 4F「第3 講義室」で開催された京都部合同メネット会には不参加)。



8月31日(土)に開催された第17回中部部会の翌日なので、中部部会のホスト役をした金沢犀川クラブとしては強行日程ですが、澤瀬会長運転の車に同乗して難く参加できました。JR 京都駅構内にあるホテルグランビア京都は、電車で来る参加者にはとても便利です。京都部はクラブ数 18、会員数 492 名(7月31日現在)を擁する西日本区最大の部であり、会員数は中部の4倍強ですから、中部部会の参加者 128 名の4倍近い参加者数になるというのは当然でしょう。それにしても、新しもの好きの京都人らしい、迫力満点の演出によるエネルギッシュなプログラム展開に度肝を抜かれました。左の写真は、懇親会における西日本区大会アピール。向って右端の和服姿は、桂部長です。

【第12回六甲部部会】日時：9月7日(土)14:30～19:00、会場：神戸クリスタルタワー3F「クリスタルホール」、ホスト：神戸ポートクラブ、部長：山田滋己。登録費：ワイズ 7,000 円、メネット 6,000 円。参加者数：139 名。中部からの参加者：川口 恵・川本龍資・谷川 修(名古屋クラブ)、大西博昭・郷戸正光(四日市クラブ)、平口哲夫(金沢犀川クラブ、13:00～14:00 開催のメネットアワーには不参加)。兼・神戸ポートクラブ 25 周年記念式典。

会場は JR 在来線神戸駅浜側のすぐ近く、交通の便のよいところにあり、山田部長がお勤めの川崎重工の所有ビルですので、何かと配慮していただけたのではないかと思います。記念講演は、神戸大学大学院海事科学研究科の矢野吉治教授による「練習船 深紅丸の東日本被災地支援活動について」でした。矢野教授は前身の神戸商船大学において山田部長の先輩に当たり、深紅丸の船長も兼務しているとのこと。私は先史時代捕鯨の研究の必要性から日本セトロジー(鯨類学)研究会の会員にもなっていて、海洋科学とも縁がありま



すので、ご講演をととても興味深く拝聴しました。前ページ末の写真は、懇親会でロールバックマラリア(マラリア撲滅運動)のアピールをしているところ。

【第25回阪和部部会】日時：9月14日(土)11:30～15:30、会場：大阪府紀泉わいわい村、ホスト：大阪泉北クラブ、部長：飯沼 眞。登録費：4,000円。参加者数：115名。中部各クラブからの参加者：平口哲夫(金沢犀川クラブ)。

7:02 金沢駅発サンダーバード20号に乗り、大阪駅で紀州路快速に乗り換え、和泉砂川駅11:08着のはずが、踏切遮断機の故障とかで20分余り到着が遅れた結果、和泉砂川駅からタクシーで一人会場に向うことになりました。細い曲がりくねった山道をどんどん奥に入った先に「紀泉わいわい村」がありました。運転手の話によれば、気温は34度を超えているとか。場所柄を考えてフィールド向きの服装をしてくればよかったのに、夏用のスーツにネクタイ姿でしたので、先が思いやられました。村内の「あずまや前広場」における開会式の終わり近くに会場に到着。「あずまや野外炊事場1・2」等で昼食(カレーライス・野菜サラダ)。13:00～14:30の分科会(事業別)ではファンド事業に配属されていることに気がつかず、EMC事業の分科会を手始めに各分科会の写真を撮って回り、「あずまや」で開催されていたメネ



ト事業の分科会では集合写真(左の写真)の仲間入りもさせていただき、残り時間も村内の民家や栗の木などを撮影しまくってしまいました。晴れたり曇ったりというお天気でしたが、雨に降られることはなく、自然に恵まれた「わいわい村」の良さを十分堪能することができました。ホテルで開催するのとは、お世話する大勢のスタッフが不可欠ですので、金沢の現状では見習うの

は難しいかもしれません。

【第17回中西部部会】日時：9月15日(日)15:00～18:00、会場：茨木市役所南館9F「スカイレストラン」、ホスト：大阪茨木クラブ、部長：塚 理。登録費：5,000円。参加者数：135名。中部各クラブからの参加者：川口 恵・川本龍資・谷川 修(名古屋クラブ)、大西博昭・郷戸正光(四日市クラブ)、平口哲夫(金沢犀川クラブ)。

阪和部部会の翌日に開催なので、前日に茨木市近辺で宿泊することも考えていたのですが、片付けておきたい仕事もあるので、いったん自宅に戻って出直すことにしました。当日は台風18号が接近中で、電車の運行が心配されましたが、風雨は強まってきたものの、予定通り会場に到着することができました。塚部長が茨木市の市議会議員ですから、市役所の施設を会場にしたり、市長に来賓挨拶していただいたりするのはお手のものでしょう。講演はマエストロ・岩井孝夫氏による「バイオリン製作に心を込めて」で、バイオリニスト・馬淵清香(さやか)さんの演奏とセットになっていました。懇親会で岩井氏・馬淵さんと同席になりました(上の写真)。なかなか良い企画でした。



【第12回西中国部部会】日時：9月28日(土)13:00～18:30、会場：広島YMCAコンベンションホール、ホスト：広島クラブ、部長：赤羽克秀。登録費：6,000円。参加者数：90名。中部各クラブからの参加者：川口 恵・川本龍資・谷川 修・渡辺真吾(名古屋クラブ)、平口哲夫(金沢犀川クラブ)。

第2部の「障がい者アート展と講演会」がメネット事業と兼ねる方式で開催された点はともよかったですと思います。中部部会のように午前中に評議会とメネットアワーが並行して開催されると、評議会出席義務者はメネットアワーに参加できないことになります。川口隆司氏による講演「障がい者アートの魅力と彼らの社会参加の可能性」には大いに感銘を受けま



したし、講演後に「障がい者アート作品説明・鑑賞」の時間(左の写真)を設けたのも効果的でした。懇親会のオークションは、赤羽部長の仕切りがとても上手で盛り上がり、「100万円が相場」と称する浮世絵を高瀬稔彦理事が55万円で競り落としたのにはびっくりしましたが、売り上げは西日本区が目標とする東日本大震災復興支援金200万円に回されますので、実質、高額寄付をなさ

ったということなのでしょう。翌日の九州部会に参加するため、三井ガーデンホテル広島に一泊。

【第32回九州部部会】日時：9月29日(日)15:00～、会場：菊南温泉ユウベルホテル、ホスト：熊本むさしワイズメンズクラブ、部長：入佐孝三。登録費：ワイズ10,000円、メネット8,000円。参加者：131名。中部各クラブからの参加者：谷川 修(名古屋クラブ)、平口哲夫(金沢犀川クラブ、13:00から開催されたメネットアワーにも参加)。

JR広島駅9:15発の新幹線みずほ603号に乗るためプラットホームにいたら谷本久美子メネット事業主任とバッタリ出会い、ご同行の藤川真澄メネット事務局会計も加わって四方山話をしながらの旅行となりました。10:53熊本着、新幹線のおかげで熊本は意外に近いという印象を受けました。熊本駅前からバスに乗って会場に向う途中、浅岡徹夫直前理事が乗り込んでくれたので、期せずして4人一緒に会場に到着。第一部「式典」のオープニングはイ ミョン ギル大邱クンホクラブ会長と共に参加なさったジョ グム ヒ会長夫人によるピアノ演奏で始まり、その伴奏でイ会長も独唱。第二部「ソプラノコンサート」はソプラノ宮本恵里さん、ピアノ伴奏脇坂留未さんによりイタリア歌曲2曲、日本歌曲2曲、オペラ1曲が披露されました。左



の写真は、懇親会で撮ったもので、向って右から二人目がイ大邱クンホクラブ会長、四人目がジョ会長夫人、左端がオ ビョン チョル大邱クンホクラブ元会長。会場となったホテルに一泊し、翌日、付近の観光をする予定であるということ、懇親会のときに浅岡さんに話したところ、近江八幡クラブの堀江宏ワイズ・芙美メネットが菊地峡谷をレンタカーで見学するそうだから一緒にしてはと、私をご夫妻に紹介してくださいました。

【第18回びわこ部部会】日時：10月5日(土)14:00～、会場：琵琶湖上「観光船ピアンカ」、ホスト：彦根シャトークラブ、部長：川瀬勝彦。登録費：10,000円。参加者数：192名。中

部各クラブからの参加者：幸正一誠・澁谷洋太郎・伊藤仁信・伊藤悦子・数沢輝夫・数沢淑子(金沢クラブ)、川本龍資(名古屋クラブ)、大西博昭・栗原正明・若松芳弘・若松和子(四日市クラブ)、北 肇夫・澤瀬 諭・平口哲夫・三谷信三(金沢犀川クラブ)。



湖上ビアンカ(彦根から乗船)を会場にするという趣向が人気を呼んだようです。乗船口でデキシーランドジャズハッピーパイプが歓迎の演奏。曇り空で遠くの景色は霞んでいたものの、湖面は凧いでいました。4F で開催された第一部「式典」の時間(14:30~15:15)にメネット会が2Fで行われたので、メネット会の記念講演「復興支援に寄り添って」(滋賀県避難者の会代表 遠藤正一氏)は聴けな

かったのは残念です。式典終了後、参加者一人ひとりに渡された風船が甲板上でいっせいに放たれ、見る見るうちに遠ざかっていく様子に歓声が上がりました。第2部「懇親会」は2Fと3Fに分散して行われ、デキシーランドジャズやソウル&オールディズミュージックを聴きながら和洋中の料理を楽しみました。

【第12回瀬戸山陰部部会】日時：10月12(土)・13日(日) 14:00~、会場：姫路市家島町男鹿(たんが) 中村荘、ホスト：姫路グローバルクラブ、部長：前田文夫。登録費：10,000円(一泊二食)。参加者：57名。中部各クラブからの参加者：薦田正男(津クラブ)、平口哲夫(金沢犀川クラブ)。兼・姫路グローバルクラブ設立20周年記念会。

新幹線ひかり463号で11:43姫路駅着。改札口を出たところで山田滋己六甲部長、生雲文枝地域奉仕・環境事業主任、谷本久美子メネット事業主任のお三方と期せずして一緒になり、バスで姫路港へ。そこから14:00発のチャーター船で男鹿島へ。男鹿島の中村荘は釣り客や海水浴客が利用するような「海の家」です。第一部で行われた記念講演は、仙台青葉城クラブの南澤一右(みなみさわ・かずよし)会長による「東北震災と復興」でしたので、同クラブの方々がほかに7名参加しておられました。そのうちの一人、清水弘一ワイズとは2013年10月23日(日)に秋保森林スポーツ公園で開催された仙台広瀬川クラブ芋煮会に震災お見舞いがてら参加した際にお会いしたことがありますので、男鹿での再会にびっくりしていました。第二部「姫路グローバルクラブ20周年記念式」での記念講演「いえしまの魅力」(いえしまコンシェルジュ 中西和也氏)は、大阪出身で、いろいろ遍歴の末、家島に居ついて家島観光に貢献している経緯を紹介し、翌日午前中、オプションで参加した家島本島めぐりの案内役も務めてくださいました。家島本島には特別珍しいものがあるわけではありませんが、何気ない日常的な島の暮らしに面白さを感じました。第三部「夕食・懇親会」は、前田部長が盛んに宣伝したとおり、新鮮な「海の幸」が何種類もいっぱい出ました。オークションに、



私は母の遺作「立ち雛を描いた色紙」を出品したところ、瀬戸山陰部の早川 悟 次期部長が落札。翌日、姫路城を見学する予定だと口にしたら、生雲ワイズ、谷口メネットに加えて長壽和子ファンド事業主任も同行してくださることになりました。左の写真は、10月13日6時半過ぎに中村荘2階の宿泊室「家島5」の窓から、お土産用に注文のあった魚を獲って帰る途中の船を撮影したものです。